

2021年度 授業シラバスの詳細内容

○基本情報			
科目名	観光学入門 (Introduction to Tourism)		
ナンバリングコード	E21407	大分類 / 難易度 科目分野	経営経済学科 専門科目 / 標準レベル 地域マネジメント
単位数	2	配当学年 / 開講期	2年 / 前期
必修・選択区分	選択: 経営経済学部 コース選択必修: 情報メディア学科 情報コミュコース ※入学年度及び所属学科コースで異なる場合がありますので、学生便覧で必ず確認してください。		
授業コード	E046701	クラス名	-
担当教員名	山城 興介		
履修上の注意、履修条件	講義の最後に、毎回課題を出します。 出席状況を直接の評価基準とするわけではありませんが、遅刻と欠席による授業内容の把握の遅れは、そのまま、課題提出の困難さを招きますので注意してください。		
教科書	毎回、事前に電子ファイルにて配布します。		
参考文献及び指定図書	適宜指定します。		
関連科目	サービスラーニングI・II、マーケティングリサーチ、社会調査法、地域イノベーション論、地域ブランド論		

○基本情報							
授業の目的	<p>わが国では、社会の熟成に伴う経済構造の再編成が急務となっている。その一翼を担うのが「観光」である。</p> <p>2008年国土交通省内で、大臣官房総合観光政策審議官および総合政策局観光政策課など6課を廃止し観光庁を設置、国土交通省設置法第四十二条-四十四条内で「観光立国の実現に向けて、魅力ある観光地の形成、国際観光の振興その他の観光に関する事務を行うことを任務とする」事を謳っている。国内・国際観光を問わず、観光環境の整備及び人材育成の必要性は関係者の全てが認識するところではあるが、関係者外の危機感の薄く、広く国民への教育が望まれている。</p> <p>本講義では、「観光とは何か」を深く考え、自らの周辺にある現象としての観光や、観光政策に理解を深め、国や地方自治体、観光事業者・団体に対し、客観的な政策提言を行い得る人材の育成の基礎とすることを目的とする。</p> <p>本講義では、現在の観光と観光学の概要について、解説していきます。また、全国の観光動向とは異なり、独自の発展を遂げてきた九州の観光に着目し、九州の観光振興の理解を高めて、今後の九州観光の発展に必要な視点や考え方などを深めていきます。</p>						
授業の概要							
授業の運営方法	<table border="1"> <tr> <td>(1) 授業の形式</td> <td>「講義形式」</td> </tr> <tr> <td>(2) 複数担当の場合の方式</td> <td>「該当しない」</td> </tr> <tr> <td>(3) アクティブ・ラーニング</td> <td>「該当なし」</td> </tr> </table>	(1) 授業の形式	「講義形式」	(2) 複数担当の場合の方式	「該当しない」	(3) アクティブ・ラーニング	「該当なし」
(1) 授業の形式	「講義形式」						
(2) 複数担当の場合の方式	「該当しない」						
(3) アクティブ・ラーニング	「該当なし」						
地域志向科目	カテゴリー III: 地域における課題解決に必要な知識を修得する科目						
実務経験のある教員による授業科目	該当しない						

○成績評価の指標		○成績評価基準(合計100点)		
到達目標の観点	到達目標	テスト (期末試験・中間確)	提出物 (レポート・作品等)	無形成果 (発表・その他)
【関心・意欲・態度】	「観光」について、興味関心を持ち、意欲的に課題について取り組むことができる。	5点		
【知識・理解】	「観光学」とはどのような学問か、また、九州にはどんな観光資源があり、それはどのように育まれてきたのか、その知識を理解することができる。	40点	5点	5点
【技能・表現・コミュニケーション】	九州の観光資源について、説明することができる。	15点	5点	5点
【思考・判断・創造】	九州観光にはどのような課題があり、今後、どのように展開していけばいいのか、自分で考え、発想することができる。	10点	5点	5点

○成績評価の補足(具体的な評価方法および期末試験・レポート等の学習成果・課題のフィードバック方法)
期末試験の結果と講義での参加状況、毎回講義の最後に出すレポート課題によって、評価します。 期末試験70点+講義参加点15点+レポート課題15点=100点 レポート課題は次回以降の講義中に講評・解説を行います。

○その他
講義について、不明な点がある場合には、19号館4階の山城研究室まで聞きに来てください。

2021年度 授業シラバスの詳細内容

○授業計画	科目名 担当教員	観光学入門 (Introduction to Tourism) 山城 興介	授業コード	E046701
<b>学修内容</b>				
<b>1. 「観光」とは何かを理解する</b> 観光と何か、観光の定義や「旅」と「旅行」の違い、「レジャー」と「レクリエーション」と「観光」について考えていきます。				
予習	キーワードについて、インターネット等で事前に調べておく			約2時間
復習	配布資料を熟読する			約2時間
<b>2. 観光が発生するための条件</b> 観光が発生するための条件や観光による効果と影響について、解説していきます。				
予習	キーワードについて、インターネット等で事前に調べておく			約2時間
復習	配布資料を熟読する			約2時間
<b>3. 観光学の概要</b> 観光学の概要と観光学の歴史について、解説していきます。				
予習	キーワードについて、インターネット等で事前に調べておく			約2時間
復習	配布資料を熟読する			約2時間
<b>4. 観光資源、観光地とは何か/九州観光の歴史の流れ(1)</b> 観光資源、観光地とは何かを考えるとともに、昭和の九州観光の歴史の流れについて、解説していきます。				
予習	キーワードについて、インターネット等で事前に調べておく			約2時間
復習	配布資料を熟読する			約2時間
<b>5. 九州観光の歴史の流れ(2)</b> 平成の九州観光の歴史の流れについて、解説していきます。				
予習	キーワードについて、インターネット等で事前に調べておく			約2時間
復習	配布資料を熟読する			約2時間
<b>6. 九州の観光地の現状と課題</b> 九州の観光地の現状と課題について、理解を深めていきます。				
予習	キーワードについて、インターネット等で事前に調べておく			約2時間
復習	配布資料を熟読する			約2時間
<b>7. 九州の温泉地域の状況</b> 九州の温泉地域の状況を解説するとともに国民保養温泉地とは何かを解説していきます。				
予習	キーワードについて、インターネット等で事前に調べておく			約2時間
復習	配布資料を熟読する			約2時間
<b>8. 九州地方を代表する温泉地域(1)</b> 九州地方を代表する温泉地域の特性について、理解を深めていきます。				
予習	キーワードについて、インターネット等で事前に調べておく			約2時間
復習	配布資料を熟読する			約2時間

○授業計画	科目名 担当教員	観光学入門 (Introduction to Tourism) 山城 興介	授業コード	E046701
<b>学修内容</b>				
<b>9. 九州を代表とする温泉地域(2)</b> 九州地方を代表する黒川・由布院・別府の各温泉地域の実態を把握します。				
予習	キーワードについて、インターネット等で事前に調べておく			約2時間
復習	配布資料を熟読する			約2時間
<b>10. 観光と交通との関係</b> 観光と交通との関係について解説するとともに九州地方の交通インフラの状況について理解を深めていきます。				
予習	キーワードについて、インターネット等で事前に調べておく			約2時間
復習	配布資料を熟読する			約2時間
<b>11. 九州の交通ネットワークと観光(1)</b> 九州の交通ネットワークと観光との関係について、解説するとともに、JR九州のD&S列車について実態を把握します。				
予習	キーワードについて、インターネット等で事前に調べておく			約2時間
復習	配布資料を熟読する			約2時間
<b>12. 九州の交通ネットワークと観光(2)</b> 九州の高速道路整備と高速バスの状況、ならびに、九州の海上交通と観光との関係について解説していきます。				
予習	キーワードについて、インターネット等で事前に調べておく			約2時間
復習	配布資料を熟読する			約2時間
<b>13. 九州の交通ネットワークと観光(3)</b> 九州の航空と観光について、解説していきます。				
予習	キーワードについて、インターネット等で事前に調べておく			約2時間
復習	配布資料を熟読する			約2時間
<b>14. 九州における観光ビジネスの経営戦略</b> 九州における観光ビジネスの経営戦略について、スターフライヤー(SFJ)の事例を取り上げて、解説していきます。				
予習	キーワードについて、インターネット等で事前に調べておく			約2時間
復習	配布資料を熟読する			約2時間
<b>15. まとめ</b> 講義で学んできたことを復習します。				
予習	これまでの配布資料を取りまとめて、重要なことを切り出しておく			約2時間
復習	配布資料を熟読する			約2時間
<b>16. 期末試験</b> これまでの内容について、記述式の試験を実施する				
予習				
復習				